

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F  
TEL/017(752)0171 FAX/017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

## 上十三支部3月見学例会

### 地域に生き、地域を活かす

～この街に暮らす、すべての人にしあわせな人生を～



#### ◆報告者◆

(同)くらしラボ (上十三支部)  
代表社員 橋 友博 氏

(2024/3/22 参加 19名)

#### ★★★ 感想文 ★★★

橋氏が、昨年6月に誕生させた、新しいスタイルの複合施設の見学例会に参加して参りました。

参加者も多く、皆さんの関心の強さを感じつつ、見学をさせて頂きました。

小規模多機能ホームサテライト『おむすび』は介護、図書館、商店が地域の高齢者から子供まで、幅広い世代が集まる仕組みとなっていました。設立以来、「その人の“ふつう”をサポートする」をコンセプトに、訪問介護、生活支援サービス、居宅介護支援事業所を運営されています。先に開設された小規模多機能ホーム「くらしの家」では、「通い」「宿泊」「訪問」などを一つの事業所で行い、地域の多目的交流スペース「くらっち」が併設、地域の集会や、ママ友や子供達のたまり場的にも使えるフリースペースがありました。

小規模多機能ホームサテライト『おむすび』の図書館、商店は大人の寄付によって、子供達のたまり場が運営されるなど、アイデアあふれる仕組みづくりとなっていました。なによりの驚きが、スタッフの業務のタイムスケジュールを廃止して、利用者さんが決めること。利用者さんがやりたいことをやるためにスタッフが考えることでした。ここで勉強になったことは、情報の共有をスマートフォンのアプリを利用して、

「つながり」をキーワードとして、業務の連携、管理を行っていることでした。また、スタッフの選手名鑑をつくっているなど、まさに驚きの工夫や仕組みづくりは、自社でも大きな参考となりました。

今回の企業テーマからの取り組みを見学させて頂き、これからの企業としての取り組みの大きなヒントを頂けたと感じました。ありがとうございました。

記/ (株)エバーグリーン 代表取締役 中嶋 崇 氏



## 2024年度合同入社式 & フレッシュ社員マナー研修会



2024/3/29 新入・中途社員 12社 22名、引率者 10名参加



# 下北支部4月例会

定時総会参加者報告ランチ例会

(2024/4/24 参加 12名)

★★★ 感想文 ★★★

第27回定時総会 記念講演の報告がありました。  
一番印象に残ったのは、情報の発信の仕方です。  
元々あった商品の他に経営がまずいから「まずい棒」といった商品を販売するなど、逆転の発想がすごいと思いました。

食後の懇談では、参加企業からの社員募集の仕方、インターネットの活用等有意義な意見を聴くことが出来て大変参考になりました。

創業間もない会社の為、人員の確保や販路の確保に悩んでいましたが SNS 等活用しての情報発信が有意義と思いましたので自社でも活用していくよう検討したいと思います。

記/ (株)新盛電業 代表取締役 新谷 周二 氏



↓ 4/10 八戸支部4月例会 参加 16名



↓ 4/24 青森支部4月例会 参加 47名



# 女性部会5月全県例会

「誰もが働ける会社って？」

～ 挑戦の先に答えがある ～



◆報告者◆

(有)ローズリー資源

代表取締役 田中 桂子 氏

(青森支部)

(2024/5/22 参加 16名)

★★★ 感想文 ★★★

(有)ローズリー資源代表の田中桂子氏より工場見学と講演を拝聴致しました。

自社においても産業廃棄物を業者さんに依頼することが増えてきた昨今です。その処理現場を目にする機会を頂き、まずは処理にあたって分別される種類の多さに驚きました。社屋に掲げられている「リサイクル率 100%」を目指して現場が工夫され、資源が循環される仕組みと田中氏が「ゴミから今の社会が見える」の一言は正にその通りであると感銘を受けました。

工場の中では生き活きと働く障がい者の皆様とその繊細な仕事内容にも感心し、その他にも元受刑者の皆様の自立支援など、多くの苦勞を知りました。そして、先代と意思を一つにして取り組んできたからこそ、頑丈な土台の上に理念が出来たのだと。

自社の職場も「共創と協働」を目指し、急がず前進、諦めず挑戦し、愛のある言葉と行動で循環型の社会の一員になりたいと改めて思った次第です。

記/ (株)KAWACHO RICE

専務取締役 川村 敦子 氏



# 下北支部5月例会

## 自社の立ち位置と課題を明確に



◆報告者◆

経営指針委員長

((株)青北建設 代表取締役社長)

附田 久志 氏 (上十三支部)

(2024/5/24 参加 11名)

★★★ 感想文 ★★★

企業変革支援プログラム Ver.2 勉強会に参加し、自己診断の各項目を検証したところ、企業としての課題が何であるかということが、まざまざと認識せざるを得ない結果となりました。

ただ、多くの小規模企業にとっては、自己診断の各項目すべての課題を解決できるかという、その過程において困難な場合もあるのではないかと感じました。とは言え、企業は変化し続けていかなければならないのも事実であり、生き残りを懸けて、出来ることに重点を置いて取り組んでいきたいと思えます。

今回参加して、今後の課題解決につながる良い機会を得ることができました。ありがとうございました。

記/ (有)小田桐石材 小田桐 亮 氏



# 八戸支部5月例会

## 5代目経営者の覚悟と決意

～ 事業継承とその先に見えたもの ～



◆報告者◆

下沢食品(株) (八戸支部)

代表取締役 下沢 宇寛 氏

(2024/5/29 参加 28名)

★★★ 感想文 ★★★

## 同友会例会から学ぶ事業継承と組織運営のヒント

今回拝聴した例会は、事業継承というテーマだけでなく、組織運営全般において示唆に富む内容でした。報告を聞いて、会社を単なる組織として捉えるのではなく、人の集まりとして捉えることが重要であり、組織を円滑に運営するためには明確なルール

と社内での会話、対話が不可欠です。しかし、権限者がルールを独占し、社員との対話を怠れば会社が停滞するのだと感じました。

また、成績を収めた人を表彰する制度は、社員の意欲を高め、会社での目標意識を持ち一体感を感じてもらう効果もあると思います。さらに、挨拶や笑顔といった行動が、社内環境に大きな影響を与えることも学びました。

最後に、会社の方針を明確にし、社員と共有することは、組織全体が団結するためにとっても重要と感じました。今回の例会で学んだことを事業継承だけでなく、組織運営全般において活かし、より良い組織づくりに励みたいと思います。

記/ (有)風香堂 取締役 佐藤 太亮 氏



# 青森支部5月例会

## 同友会活動 27 年を振り返って

～よい会社、よい経営者、よい経営環境のために～



◆報告者◆

(株)大坂組 (青森支部)

代表取締役社長 大坂 憲一 氏

(2024/5/30 参加 62名)

★★★ 感想文 ★★★

お話の中で我が社にも取り入れたいことがありました。「まずやってみる」という人を大切にします。会社発展のためには必要不可欠だと思いました。あれこれ理由を並べて行動しないのはどうかということです。あとは「お金と時間を作って学びに行く。まずは行動を起こす」という言葉も、仕事面はもちろん、生きていく上で“学び”というのは生涯ずっと継続されていく事柄だと、改めて感じることができました。

私は去年 10 月に初めてゲスト参加させて頂き、今年 4 月に入会したばかりですが、大坂社長へ今回

の例会時ご挨拶した際に「あ、豆屋さんね」と覚えていて下さり、本当に嬉しかったです。そういうお人柄がたくさんの方々から信頼を得ていらっしゃるのだろうと実感しました。見習っていきたくと思います。大坂さん、長年同友会を支えて下さり、ありがとうございました。

記/(有)辻口商店 代表取締役 辻口 美香 氏



(株)大坂組 大坂 憲一氏  
(有)オクト 天内 清一氏

長い間、代表理事・副代表理事として、青森同友会をけん引して頂き、本当にありがとうございました。今までの御功労に敬意を表すると共に、これから益々のご活躍を祈りしつつ改めてこれまでのご厚意に感謝申し上げます。

Oct,

ありがとうございました。

# 津軽支部5月例会

## フリートーク経営懇談会

(2024/5/30 参加 12名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

今回はフリートーク経営懇談会という津軽支部初の試みの例会でした。

人材育成、経営指針、事業承継、販売戦略の4つのテーマにグループ分けされ、30分×3回でそれぞれ関心のあるテーブルでグループトークに参加という形でした。

色々な業種から繰り上げられるそれぞれの課題や取り組みなど、どのグループトークも盛り上がり、話が尽きる事なく、時間が足りないと感じるほどでした。

みんなが主体性を持ってグループ内で課題解決策について意見が活発に飛び交い、笑いあり、共感あり、こういう方法もあったんだ、といったような気付きやヒントが沢山ありました。また、知っているようで意外と知らない支部の仲間の会社の事も理解が深まり、とても有意義な時間を過ごしました。

記/(有)みぞぐち布団店

代表取締役 溝口 奈美子 氏



↓ 5/23 上十三支部5月例会 参加 31名



# 一人ひとりが輝く未来

大阪から始まる新たな History

(2024/6/13-14 青森同友会参加 16名)

➤ (有)岩木建設 専務取締役 岩木 節子 氏

## 全力で向き合い続ける 経営者の覚悟が、皆の会社になる

女全交第11分科会は大阪同友会所属の(株)三佳建設の有田社長のオンライン報告でした。3人兄妹の末っ子で育ち、父が経営していた会社の社長に就任し、現場施工の詳しい社員と現場施工が分からない社長との葛藤は、同友会セミナーと同友会仲間とのLINEを通じて考え方が変わり、チャレンジすることで企業変革ができたそうです。人の本質に触れ、学びが組織の運営方法(やり方)や、経営者や組織の価値観を一致させる経営(あり方)に活かしてきたといいます。社員との関わりを通じて、会社を守ろうとしていた古参・中堅幹部社員によって「人に活かされている」ことを知った話や子育て真っ盛りの有田社長が経営者としての悩みを自分の子供に話していたこと等、涙がこみ上げてくる、感動的な報告でした。経営者の覚悟は無限だと感じました。

今回、討論のグループ長を務め、テーマに沿って討論し全国から集まった各々の会社の業種・経営内容、そして会社のトップによって特徴や違いがあることがよく理解できました。オンラインでしたがとても「リアル」な内容で愉しませて頂きました。



➤ (株)菓子卸センター坂下商店

代表取締役 坂下 静香 氏

## 企業価値を高める ～必要とされる企業と人に～

今回の大阪女全交は、オンライン分科会も含め11の分科会がありましたが、私は「未来に必要な多角的視点で企業価値創造」というタイトルに惹かれ、第8分科会に参加させていただきました。

愛知同友会の(株)マイ、ビジネスサービス代表の村田千世子氏は28年前に他人承継で事業譲渡され、大きく変化するIT業界で自立型企業に発展させてきた方です。承継した当初は、経営の事が全く分からず「すべては同友会で学んだ」とおっしゃっていた通り経営指針を愚直に実践されてきました。

村田社長は、正に多角的視点を持った経営者で、データ入力が必要な仕事だった頃からみると現在は事業内容もデータサイエンス事業、大学研究室サポート、セキュリティソフト販売など独自の企業価値を着実に高めています。また、紆余曲折ある中でも、常に前向きにチャレンジする姿勢がM&Aでの企業譲受やグローバル展開など未来に繋がっているように感じました。

企業価値には有形価値と無形価値があり有形価値は、自己資本比率などの財務。無形価値は、夢やビジョン。その両方を社員さんに伝え続けた結果、自然と社員さんたちに愛社精神や貢献意識が芽生え、現在はチーム制で経営指針づくりができるようになったそうです。

どの業界でも共通することですが、世の中の価値観が大きく変わっている今だからこそ、自社の企業価値を再確認する事が重要になってきていると思います。それを改めて考えるきっかけになった分科会でした。

「大きな木の枝葉が会社の強み」とお話の中にもありましたが、自社でも唯一無二の強みを一つでも増やし、未来に向けて選ばれる企業になるよう取り組んでいければと思います。

女全交は多くの学びと楽しみ、全国の仲間と出会う喜びを叶えてくれる絶好の場です。

これからも継続して参加できるよう、日々精進いたします。

➤(有)田島生花店 専務 脊戸 潤子 氏

今年は大阪での開催です。昨年初めて女全交に参加したときから来年も必ず参加しようと思っていました。なぜなら参加した後の気持ちが確実に変わったことを実感したからです。

分科会においては全国各地で奮闘している方々と肩を並べて話し合うことができ、記念講演は度肝をぬかれるお話を聞くことができます。同性だからこそ共感しやすいのか…

このジェンダーレスの時代でも、やはり女性の視点には深く共感し背中を押されるような気持ちになります。

来年は東京での開催ということなので、ますます刺激を受ける予感です。



4月理事会報告 於:事務局 2024.4.2(火)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2024年度重点活動方針(案)
- 青森同友会3カ年ビジョン(2023~2025)

2)報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について
- ①各支部の動き
- ②全県の動き
- ③全国行事の動き(2024年度)

- 経営指針を創る会について
- 組織委員会について
- 退会処理フローの策定について
- 3ヶ月先行管理導入準備について
- 第23回障害者問題全国交流会 in 青森に向けて

3)審議・確認事項

- 第27回定時総会について
- 2024年度会勢目標について
- 各支部、委員会からの報告

会員数 414 名/入会 3 社 退会 4 社

5月理事会報告 於:事務局 2024.5.1(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2024年度重点活動方針
- 青森同友会3カ年ビジョン(2023~2025)

2)報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について
- ①各支部の動き
- ②全県の動き
- ③全国行事の動き(2024年度)

- 経営指針を創る会について
- 3ヶ月先行管理導入準備について
- 第23回障害者問題全国交流会 in 青森に向けて

3)審議・確認事項

- 第27回定時総会について
- 全国行事キャラバンについて
- 第23回経営研究集会について
- 2024年度会勢目標について
- 各支部、委員会からの報告

会員数 415 名/入会 7 社 退会 6 社

6月理事会報告 於:事務局 2024.6.4(火)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2024年度重点活動方針
- 青森同友会3カ年ビジョン(2023~2025)

2)報告事項

- 青森同友会の各支部・全県事業と全国行事について
- ①各支部の動き
- ②全県の動き
- ③全国行事の動き(2024年度)

- 経営指針を創る会について
- 3ヶ月先行管理導入準備について
- 第23回障害者問題全国交流会 in 青森に向けて

3)審議・確認事項

- 第56回中同協総会について
- 2025障全交 in 青森に向けた役員研修について
- 全国行事キャラバンについて
- 第23回経営研究集会について
- 2024年度会勢目標について

- 各支部、委員会からの報告

会員数 413 名/入会 1 社 退会 3 社

【次回開催日】2024年7月2日(火) 13:30~/事務局